

Ⅶ 個性あふれる地域づくり

【柱】	【主な施策】	【部局】
特色ある地域づくりの総合的な推進	220 京浜臨海部における新しいまちづくり	企 画 部
	134 京浜臨海部における産業の活性化と雇用の創出（再掲）	企 画 部
	170 水環境保全対策の推進（再掲）	環境農政部
	174 県民との協働による水源の森林づくり（再掲）	環境農政部
	175 丹沢大山などの自然環境の保全としくみづくり（再掲）	環境農政部
	176 都市と里山のみどりの保全と活用（再掲）	環境農政部
	221 上流と下流の住民で支える水源地域づくり	企 画 部
	222 多摩三浦丘陵のみどりの保全と活用	県土整備部
	223 相模連携軸整備の推進	県土整備部
	224 酒匂連携軸整備の推進	県土整備部
	225 富士箱根伊豆交流圏整備の推進	企 画 部
	226 花と水の交流圏づくりの推進	企 画 部
	227 相模湾沿岸の地域資源を生かした魅力ある地域づくり	企 画 部
	228 「うるおい」「にぎわい」「活力」のある三浦半島の創造	企 画 部
適正で合理的な土地利用の推進	229 適正で合理的な土地利用の推進	県土整備部
都市基盤整備を支えるシステムの充実	230 都市基盤整備を支えるシステムの充実	県土整備部
地域の活力を支える公共交通網の整備	231 鉄道網の整備促進	県土整備部
	232 公共交通整備の総合的な推進	県土整備部
	233 羽田空港の再拡張・国際化の推進	企 画 部
	234 みなとまちづくりの推進	県土整備部
多様な交流を支える道路網の整備	235 自動車専用道路網の整備	県土整備部
	236 インターチェンジ接続道路の整備	県土整備部
	237 交流幹線道路網の整備	県土整備部
	238 地域分断・交通のボトルネックの解消	県土整備部
	239 道路施設の適正な維持管理	県土整備部
先導的な都市拠点の整備	240 先導的な都市拠点の整備	県土整備部
地域の個性を生かした市街地の整備	241 計画的な宅地供給の促進	県土整備部
	242 既成市街地の再整備による都市機能の更新	県土整備部
	243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備	県土整備部
豊かで多様な住まいづくり	244 安全・安心に配慮した住まいづくり	県土整備部
	245 的確な公的住宅の整備	県土整備部
	246 良質な住宅ストック形成と活用による住まいづくり	県土整備部
快適な生活を支える上・下水道の整備・充実	247 安全で良質な水の安定供給の推進	企 業 庁
	248 水源地域の水環境の保全	県土整備部
	249 下水道整備の推進	県土整備部
	250 下水道施設・資源の有効活用	県土整備部
みどり豊かで美しいまちづくり	251 みどりを保全・活用するまちづくり	県土整備部
	252 都市公園などの整備	県土整備部
	253 うるおいのあるみち空間の形成	県土整備部
	254 都市景観の保全と創造	県土整備部
自然環境に配慮したまちづくり	255 ひとや自然にやさしい水辺づくり	県土整備部
	256 環境への負荷を軽減するまちづくり	県土整備部
	257 新エネルギーを活用した都市整備	県土整備部

【部局】：【主な施策】は複数の部局にわたる取組みによって構成される場合もありますので、窓口となる部局を表しています。問い合わせ先は、それぞれの総務室（防災局は災害対策課、警察本部は警務課企画室）となります。

【特色ある地域づくりの総合的な推進】

220 京浜臨海部における新しいまちづくり (PJ42)

新しい産業を支えるまちづくりを進めるため、川崎縦貫道路や臨海部幹線道路、羽田空港への連絡路などの道路網の整備、東海道貨物支線の貨客併用化などの鉄道網の整備、都市再生緊急整備地域などの拠点整備を促進します。

134 京浜臨海部における産業の活性化と雇用の創出 (再掲)

170 水環境保全対策の推進 (再掲)

174 県民との協働による水源の森林づくり (再掲)

175 丹沢大山などの自然環境の保全としくみづくり (再掲)

176 都市と里山のみどりの保全と活用 (再掲)

221 上流と下流の住民で支える水源地域づくり

水源地域住民が生き生きと豊かにくらす水源地域づくりのため、上下流間での交流事業の開催 (PJ49) や交流の基盤となる施設の整備 (PJ49) などに取り組みます。

222 多摩三浦丘陵のみどりの保全と活用 (PJ43)

国営公園の誘致や県立都市公園などの整備、地域制緑地などの保全により、多摩三浦丘陵のみどりを首都圏の貴重なみどりとして保全活用する「みどりのネットワーク形成」を進めます。また、総合的な取組みの指針となる「三浦半島公園圏構想」を策定し、その推進に取り組みます。

223 相模連携軸整備の推進 (PJ44)

県央・湘南都市圏の骨格となる相模連携軸の形成に向けて、東海道新幹線新駅やリニア中央新幹線駅を誘致し、全国や首都圏との交流連携の窓口となる2つのゲートを形成するとともに、そのゲートをつなぐ南北方向の交通軸の整備強化を促進するほか、個性豊かなまちづくりを進めます。

224 酒匂連携軸整備の推進 (PJ45)

酒匂川流域の都市圏における総合交通ネットワークの形成と豊かな地域資源を保全・活用した地域の魅力を高める都市づくりを進めます。

225 富士箱根伊豆交流圏整備の推進 (PJ45)

山梨・静岡両県や圏域市町村と連携して、観光客の誘致に向けた取組みを強化するなど、富士箱根伊豆交流圏整備を進めます。

226 花と水の交流圏づくりの推進 (PJ45)

花と水をテーマとした新たな観光・交流スポットの整備の促進を図るなど、県西地域の地域資源を生かした観光魅力づくりに取り組みます。

227 相模湾沿岸の地域資源を生かした魅力ある地域づくり (PJ51)

相模湾沿岸の地域資源を守り、生かし、発信するため市町や県民との協働・連携による構想の策定・推進に取り組みます。

228 「うるおい」「にぎわい」「活力」のある三浦半島の創造 (PJ43)

三浦半島の自然と文化的資産、多様な産業基盤の連携を図りながら、一体となって地域を創造するための事業プログラムの策定・推進に取り組みます。

※ (PJ〇〇) は、当該戦略プロジェクトを構成する施策・事業であることを示します。

【適正で合理的な土地利用の推進】

229 適正で合理的な土地利用の推進

適正で合理的な土地利用の実現と効率的で質の高い都市整備を進めるため、線引き制度（区域区分）と土地利用・都市施設に関する都市計画制度を積極的に活用し、住民などの主体的・積極的な参加による都市計画に取り組みます。

【都市基盤整備を支えるシステムの充実】

230 都市基盤整備を支えるシステムの充実

都市基盤整備の円滑な推進のため、公共事業支援統合情報システム（CALS/EC）の導入により公共事業の効率化を進めるとともに、事業によって生じる建設発生土の有効利用や建設廃棄物の再資源化システムの一層の充実を図ります。あわせて、これらのシステムの建設業界への普及や都市基盤整備の県民への理解を進めます。

<CALS/EC>

「公共事業支援統合情報システム」の略称。従来は紙で交換されていた情報を電子化するとともに、ネットワークを活用して各業務部門をまたぐ情報の共有・有効活用を図るためのしくみ

【地域の活力を支える公共交通網の整備】

231 鉄道網の整備促進

JR相模線の複線化（PJ44）や東海道貨物支線の貨客併用化（PJ42）に向けた取組みを進めるとともに、横浜市営地下鉄の整備に対して支援を行うなど、利便性の高い鉄道網の整備を促進します。

232 公共交通整備の総合的な推進

乗合バス路線の廃止などに伴う生活交通の確保に取り組みます。また、公共交通の利用を促進し、交通混雑の緩和や環境負荷の軽減のため、交通需要マネジメントの推進やバス交通の利便性の向上を図ります。さらに、多様化する交通ニーズに対応するため、新たな交通手段の導入について検討を行います。

233 羽田空港の再拡張・国際化の推進（PJ42）

2000年代後半までに国際定期便の就航を図るとされたことを踏まえ、その早期実現に向けた取組みを進めるため、国や関係都県市と連携し、羽田空港の再拡張・国際化を進めます。

234 みなとまちづくりの推進（PJ51）

真鶴、大磯、湘南、葉山港の4港周辺の市町の個性ある発展を進めるため、みなとの資産を生かし地域を活性化するみなとづくりを進めます。

【多様な交流を支える道路網の整備】

235 自動車専用道路網の整備

県土構造の骨格となる第二東名高速道路、さがみ縦貫道路、国道246号バイパス（PJ44）、横浜環状道路などの自動車専用道路網の整備（PJ42、44、45）や東京湾口道路などの計画を進めます。また、既存の自動車専用道路の活用について検討を行います。

236 インターチェンジ接続道路の整備

新たに整備される自動車専用道路のインターチェンジへの円滑なアクセスを確保し、利便性を県内各地域へ広めるため、インターチェンジと接続する道路の整備を進めます。

237 交流幹線道路網の整備

自動車専用道路網を補完して地域間を連絡する広域的な道路から、県民の日常生活を確保する道路に至るまで、多様な交流・連携を支える道路網の体系的な整備（PJ43、45）を進めます。

238 地域分断・交通のボトルネックの解消

地域分断や交通のボトルネックを解消し、道路網の機能を十分に発揮させるため、橋りょうの新設や架替（PJ45）、鉄道との立体交差化、渋滞交差点の解消を進めます。

239 道路施設の適正な維持管理

だれもが安全・快適に道路施設を利用できるよう、橋りょうの修繕・補強や車道舗装の補修、その他交通安全施設の維持補修など、施設の適正な維持管理を行います。また、緊急時の対応の迅速化を図るため、道路監視体制の強化と初動体制の充実に取り組みます。

【先導的な都市拠点の整備】

240 先導的な都市拠点の整備

第二東名高速道路などのインターチェンジ周辺やツインシティ（PJ44）など、多様な交流連携の中心となる都市拠点の形成を図ります。

【地域の個性を生かした市街地の整備】

241 計画的な宅地供給の促進

道路、公園などの都市基盤が計画的に整備された安全で良好な宅地の供給を促進します。

242 既成市街地の再整備による都市機能の更新

小規模宅地の共同化、建築物の不燃化・共同化、公園、街路などの公共施設の整備などにより、既成市街地の改善を図るとともに、市町村が総合的に行うまちづくり事業（PJ45）を支援します。

243 良質な都市型住宅の供給と住環境の整備

老朽住宅の密集する地区などにおいて、安全で快適な住環境の整備を促進するとともに、職住近接型の良質な市街地住宅の供給を進め、都市機能の更新や美しい市街地景観の形成を図ります。

【豊かで多様な住まいづくり】

244 安全・安心に配慮した住まいづくり

だれもが安全に安心してくらすことができる住まいの確保を図るため、高齢者・障害者向け公営住宅の整備・改善や、高齢者向け民間賃貸住宅の活用の促進を図ります。

245 的確な公的住宅の整備

多様な住宅供給手法を活用しながら、公的住宅の的確な整備や適正な管理を進めるとともに、円滑な住み替えを図ります。

246 良質な住宅ストック形成と活用による住まいづくり

県民のライフスタイル、ライフステージに応じた主体的な住まいづくりを支援するため、地域のマンション管理組合ネットワークの構築やマンション管理・再生の相談窓口の増設を促進するとともに、住まいづくりに関するNPOなどの活動を支援します。

【快適な生活を支える上・下水道の整備・充実】

247 安全で良質な水の安定供給の推進

漏水対策や老朽管の更新などにより水の安定供給を確保するとともに、クリプトスポリジウム（人の腸内に寄生して下痢を起こす微生物の一種）対策としての膜ろ過設備の導入や鉛管解消などにより、安全で良質な水の供給に取り組みます。さらに、災害に強い水道づくりとして、水道施設の耐震化や隣接する他の水道事業者などとの相互融通の強化により水道施設の質的充実を図ります。

※（PJ〇〇）は、当該戦略プロジェクトを構成する施策・事業であることを示します。

248 水源地域の水環境の保全

県民の生活や産業で利用される水の安定的な確保と水質の保全を図るため、水源地域において**水質保全対策や堆砂対策などを進めます**（PJ46）。

249 下水道整備の推進

生活環境の改善はもとより、安全で良質な水の確保や河川、海域などの水質保全、雨水による浸水防除のため、**県と市町村が一体となって下水道の整備を進めます**（PJ46）。また、流域下水道においては、老朽化した施設の改築・更新、耐震強化、水循環・水環境のさらなる創出や処理場間のネットワーク化を進めます。

250 下水道施設・資源の有効活用

相模川・酒匂川流域下水処理場施設の一部を利用した緑地整備など施設の多目的利用や省資源・循環型社会をめざした下水処理水、下水汚泥、下水熱など下水道資源の有効活用を進めます。

【みどり豊かで美しいまちづくり】

251 みどりを保全・活用するまちづくり

湘南海岸における砂防林の保全（PJ51）、みどりの協定（PJ50）などによる都市の緑化を県民と協働・連携して進めます。

252 都市公園などの整備

新しい都市公園のあり方を検討（PJ51）するとともに、様々な手法を活用して都市公園面積の拡大をめざします。また、**公園施設のユニバーサルデザイン化（PJ6）、防災機能の強化など公園の様々な機能を充実し、県民が安全で快適に利用できる魅力ある都市公園などの整備（PJ45、50）**を進めるとともに、その運営を充実します。さらに、**市町村が行う都市公園の整備について支援（PJ50）や国営公園の誘致を進めます（PJ43）**。

253 うるおいのあるみち空間の形成

幅が広く電柱や段差のない、だれもが歩きやすい歩道（PJ6）を整備します。また、街路樹・植栽帯の整備や剪定・病虫害駆除などの維持管理による道路緑化の推進により、環境に配慮したうるおいのあるみち空間の形成をめざします。

254 都市景観の保全と創造

自然景観との調和を図りつつ、地域の個性を生かした魅力ある都市の景観形成を、市町村と連携して促進します。

【自然環境に配慮したまちづくり】

255 ひとや自然にやさしい水辺づくり

多様な生物の生育環境を大切に、景観も含む周辺環境やいこいと親しみのある親水空間を創出するなど、ひとや自然にやさしい水辺空間を整備します。

256 環境への負荷を軽減するまちづくり

県央・湘南都市圏において環境と共生する都市づくり（PJ44）を進めるとともに、都市基盤整備の実施に伴い発生する建設廃棄物のリサイクルの促進や交通渋滞の緩和による環境負荷の軽減などにより、環境に配慮したまちづくりをめざします。

257 新エネルギーを活用した都市整備（PJ34）

太陽光発電など環境にやさしい新エネルギーを活用した都市公園、下水道施設の整備に取り組みます。